

# 2021年度 活 動 報 告

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

## 1 事業活動概要

コロナ禍が継続し、引き続き事業実施に慎重を期する1年となりましたが、子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組みました。

学校現場においては、新型コロナの影響により、長期休校や学校行事の中止、オンラインでの授業実施など、子どもたちをめぐる環境は大きく変わった。2019年度の神奈川県内の公立小中学校・高校・特別支援学校のいじめ認知件数は2万8245件(前年度比3139件増)で過去最多を更新した中、コロナ感染への社会不安は、偏見や差別、いじめへと向かい、こうした事象が助長されるのではないかとの危惧が広がりました。そして、2020年に自ら命を絶った児童生徒は500人近くに上り、2019年に比べて4割以上増え、コロナ禍での孤立感が深刻な影響を与えていることが窺えました。

こうした状況の中、神奈川子ども未来ファンドは、「一般財団法人日本民間公益活動連携機構」が実施する休眠預金等活用法に基づく『新型コロナウイルス対応緊急支援助成』の資金分配団体に採択され、通常の助成事業の他、6団体に総額4,896,769円を助成しました。

また、最終年度となる「かながわボランティア活動推進基金21」による神奈川県との協働事業『子ども支援活動地域サポート推進事業』では、活動団体と企業・団体等のマッチングのサポートに積極的に取り組みつつ、ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の運用を開始するなど、計画に沿った取組みを進めました。

更には、コロナ禍だからこそ「共にある」「見守っている」とのエールを子どもたちに送りたいと、ピンクシャツデーアクションに取り組み、協賛企業や後援いただく自治体も増えるなど、その成果は県下に広がっています。

2021年度はコロナ禍により中止した事業もありましたが、様々工夫しながら以下の活動を行いました。

## 2 事業内容

(1) 個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

① NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

(ア)ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の運用によるマッチングの推進

(基金21協働事業負担金事業)

- ・内 容 ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の完成と運用  
子ども支援活動団体を支える企業等のサポーター向け、子ども支援活動団体向け、子育て当事者等向けのページで構成し、双方向の情報交換ができるポータルサイトを構築し運用を開始した。子ども支援活動団体の情報、団体の活動を支える企業等の情報、子ども支援に関する情報を集約し運用することで、活動団体と企業等のマッチングを行った。  
閲覧可能団体数 354団体(企業団体6団体含む) マッチング件数4件
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等

・支 出 額 1,194,257 円

(イ) コーディネート窓口の運営によるコーディネート推進  
(基金 2 1 協働事業負担金事業)

・内 容 「つなぐ・支える相談窓口の運用」

ホームページ上に開設している「つなぐ・支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターの申出とのコーディネートを進めた。コーディネート窓口の運用は定着しつつあり、ポータルサイトを検索し当団体への問い合わせ等につながっている様子が見受けられる。ポータルサイトと窓口の二つの要素を運用することで、大手企業等からの相談先として成果をあげている。

相談件数：25 件（成立 13 件 不成立 5 件 継続 3 件 情報提供 4 件）

・日 時 通年

・場 所 事務局及び県内

・従事者人員 3 名

・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等

・支 出 額 447,846 円

(ウ) ワールドカフェ（子どもの未来応援ネットワーク）の開催  
(基金 2 1 協働事業負担金事業)

・内 容 「フジサワアイデアソン～子どもを取り巻く環境を考える～」を開催

（一社）藤沢市民活動推進機構の協力を得て、貧困等への対応を念頭に、新型コロナ感染拡大防止に配慮し、地域の NPO 等と企業等とのオンラインイベントを実施した。

・日 時 3 月 28 日（月）14：00～16：00

・場 所 オンライン

・参加人数 25 名

・従事者人員 3 名

・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等

・支 出 額 358,277 円

(エ) ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」登録団体・企業等の交流会の開催  
(基金 21 協働事業負担金事業)

・内 容 ポータルサイトの定着と子ども支援の拡大に向け、ポータルサイト登録団体に 3 月 28 日「フジサワアイデアソン アフター」への参加を促し、実施した。

・日 時 3 月 28 日（月）14：00～16：00

・場 所 オンライン

・従事者人員 3 名

・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等

・支 出 額 417,990 円

② 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

(ア) 会員の募集と寄付の募集

- ・内容

【会員の募集】

	2021 年度実績	前年度実績
正会員	61 名 (40 口)	61 名 (39 口)
準会員	20 名 (20 口)	24 名 (24 口)
子ども応援会員	11 名 (11 口)	23 名 (23 口)
法人会員	21 社 (25.6 口)	13 社 (17 口)

※定款第9条第2項の適用による減を含む

【寄付の募集】

種別	2021 年度実績	前年度実績
一般寄付金※	6,452,572 円	6,454,204 円
運営基盤を支える寄付金	80,811 円	543,811 円

※ピンクシャツデー協賛金を含む

- ・日 時 通年
- ・従事者人員 3 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 149,166 円

(イ) 音楽イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 イベントブースでの募金活動及び普及啓発活動  
イベント会場で子どもの居場所事業等を実施している活動団体紹介や募金活動を行った。
- ・日 時 10月24日(日) ホッチポッチ・ミュージックフェスティバル
- ・場 所 横浜公園
- ・従事者人員 2 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 192,275 円

(ウ) 商店街でのチャリティバザーの実施

- ・内 容 商店街の寄贈品によるチャリティバザー  
モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合の協力による、商店街の秋のイベントであるフライマルクトでチャリティバザーがコロナ禍により中止となったが、同商店街のウインターイベントに出店しピンクシャツデーグッズ等を販売した。
- ・日 時 12月12日(日) 11:00~17:00
- ・場 所 川崎市元住吉 モトスミ・ブレーメン通り商店街
- ・従事者人員 2 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 4,416 円

(エ)福祉団体主催イベントでの募金活動（コロナ禍により中止）

- ・内 容 福祉作業所主催のバザーに出店し、飲料のチャリティー販売と募金活動
- ・従事者人員 1名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 4,416円

(2)個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

① 助成事業

(ア) 2021年度助成事業

- ・内 容 2021年度助成の実施

「一般助成」「課題助成いじめ・貧困・児童虐待防止」、総額120万円（団上限30万円）で2020年度に募集し、助成選考委員会の審議を経て、7団体へ総額115万円を助成した。

2021年度助成選考委員会

助成選考委員会 2021年3月31日

- 委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長
- 委員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
- 委員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士
- 委員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉理事
- 委員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員会労働者委員

- ・実施時期 5月
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 1,359,178円

【2021年度助成対象団体】

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	常設子育てサロン ちっちゃなて	<子育てサロン事業> 子育てサロンの運営	秦 野	200,000円
2	NPO 法人ここだね	<学習支援事業> 無料相談・無料学習支援事業	逗 子	200,000円
3	多文化まちづくり工房	<学習支援事業> 外国につながる子どもの学習サポート事業	横 浜	200,000円
4	ペアレンティングホーム 金沢文庫（シングルマザーシェアハウス）	<事業> 目の前にいるこども達に、学びと社会体験の環境を提供する事業	横 浜	150,000円
5	ミナクルあすなろの家	<居場所づくり事業> 不登校児童生徒やひきこもりの青少年達及びその家族の皆さんが安心できる居場所作り	座 間	130,000円
			合 計	880,000円

<課題助成>

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	NPO 法人 神奈川県子ども支援センターつなぐ	<被害にあった子どもたちへの支援> 子どもが話すことサポート(付添犬)勉強会	横 浜	135,000 円
2	NPO 法人ZIRITSU *1	<IT教育支援事業> 自立のためのIT教育	横 浜	135,000 円
			合 計	270,000 円

\*1 完了報告段階で事業遂行ができなかったことが判明したため、2022年度に助成金を返還していただく予定

(イ) 2022年度助成事業

- ・内 容 2022年度助成の実施  
「一般助成」に加え「課題助成」総額120万円1団体上限30万円で、助成対象団体を募集した。  
2022年度助成事業  
募集総額：1,200,000円（前回は0円）（1団体につき上限30万円）  
応募総額：4,741,300円  
応募団体：17団体（前回はプラス4団体）  
※他の助成が決まったと1団体の辞退があり、最終的には16件、4,441,300円となりました  
2022年度助成選考委員  
委員長 高見澤尚弘氏 株式会社高尚 代表取締役社長  
委員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長  
委員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士  
委員 藤枝 香織氏 一般社団法人ソーシャルコーディネイトかながわ 理事・事務局長  
委員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員
- ・募集期間 2021年11月1日（月）～2022年1月25日（火）
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 407,753円

② 助成贈呈式及び助成報告会（コロナ禍により中止）

(ア) 2021年度助成贈呈式・2020年度助成報告会の実施

- ・内 容 2020年度助成対象団体への助成贈呈と2020年度助成対象団体の活動報告及び寄付をした企業・団体・個人の方との交流。
- ・支出額 0円

③ 子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成

- (ア) 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預金等活用法に基づく「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体に採択されたことを受け、標記助成に係る県内実行団体の公募選考を経て決定した6団体と総額1,105万円の資金提供契約を締結し、2回分（2021年度）として総額4,896,169円を助成した。
- ・従事者人員 2名

- ・受益対象者 県内の子ども・若者の居場所事業などの利用者、子育てをしている親や家族、子ども支援に取り組む者など
- ・助成金額 2回分(2021年度) 4,896,769円 (決定総額 11,050,000円)
- ・助成期間 2回助成分 2021年5月～2021年9月 (全体期間 2020年11月～)
- ・支出額 5,391,238円

【子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成に係る助成団体】

団体名	事業名	都市名	2020年度助成金額 (決定総額)
特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会	農園を活用した子ども・若者支援事業	小田原	844,000円 (2,199,500円)
特定非営利活動法人 フリースクール鈴蘭学園	不登校・ひきこもり支援事業 ～子どもたちへの居場所の提供と学習支援～	相模原	979,400円 (1,808,900円)
NPO法人 神奈川子ども支援センターつなぐ	「トラウマのメガネ」プロジェクト ～適切なケアにつなげるための トラウマの視点～	横浜	73,040円 (869,000円)
特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	「地域みんなが元気になる活動事例集」 ～コロナに負けない！育てよう！ 子ども・若者～	横浜	1,513,337円 (2,643,673円)
特定非営利活動法人 横浜メンタルサービスネットワーク	「子ども・若者のキャリアスクール」 ～駄菓子屋カフェで職業体験～	横浜	747,550円 (2,007,800円)
一般財団法人エマージェンシー・メディカル・レスポonder財団	感染防護と、新型コロナ時代の応急手当教育 ～子どもが集う場所に安心と安全を～	横浜	739,442円 (1,521,127円)

(3) 前号の助成の対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

- ・内容 助成対象団体等への事業運営等に関する助言、支援及び専門家紹介等を行った。
- ・日時 随時
- ・場所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 90,612円

(4) 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

子ども・若者と子育てに関する調査等

- ・内容 実態を把握するため助成団体等へヒアリングを行った。
- ・日時 随時
- ・場所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 30,995円

(5) 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

① 「ピンクシャツデー2022 in 神奈川」の取組み

(基金21協働事業負担金事業(一部/企画及び普及))

- ・内 容 2022年2月のピンクシャツデー月間はまん延防止措置期間となり、昨年引き続き感染拡大防止に配慮しながらの実施となったが、県内の小中高校等でのポスター掲示や商業施設等でのサイネージ等の掲示、オリジナルグッズの販売など、多くの協力を得た。また、ライトアップを横浜5カ所、鎌倉1カ所、藤沢2カ所、小田原1カ所で実施した。県内各地域に活動の輪が広がり、学校やNPOの他図書館等での取組みがみられた。2月23日はパネル展示を実施。商業施設のプレスリリース等により、読売新聞神奈川版等で紹介された。また、インターン生によるSNS配信、ピンクシャツデー神奈川公式サイトで協賛団体等の取組み紹介等も行った。
- ・日 時 2022年2月(ピンクシャツデー月間)  
キャンペーンイベント 2月23日(水)
- ・場 所 神奈川県域 各所
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 2,070,445円

② 子どもみらいセミナーの実施(基金21協働事業負担金事業)

- ・内 容 子ども未来セミナー2021の実施(3回)  
「貧困・虐待・いじめ」をシリーズタイトルとし、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮してオンライン有料配信により実施した。  
ナビゲーター：西野博之氏(神奈川子ども未来ファンド常任理事)

第1回「コロナ禍で急増する貧困」

日 時：2021年12月19日(日)14:00~16:00

配信会場：横浜ワールドポーターズ 第1会議室

講 師：和田 信一氏(子ども食堂よこすかなかながや代表)

参加申込者数 28名 アンケート回収 7通

You tube 通算視聴回数 41回

第2回「若年女性を取り巻く現状～コロナ禍で孤独深める少女たち～」

日 時：2022年1月16日(日)14:00~16:00

配信会場：横浜ワールドポーターズ 第2会議室

講 師：橘 ジュン氏

(特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表)

参加申込者数 31名 アンケート回収 6通

You tube 通算視聴回数 72回

第3回「いじめストップ！」

日 時：2022年2月6日(日)14:00~16:00

配信会場：横浜ワールドポーターズ 第1会議室

講 師：山崎 聡一郎氏(『こども六法』著者、教育研究者、俳優、)

合同会社 Art&Arts 社長、慶應義塾大学 SFC 研修所所員)  
参加申込者数 86 名 アンケート回収 11 通  
You tube 通算視聴回数 131 回 (再配信 23 回を含む)

- ・従事者人員 10 名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 1,194,257 円

③ 子どものみらい応援団セミナー実施 (基金 2 1 協働事業負担金事業)

- ・内 容 子どものみらい応援団セミナーの実施 (2 回)  
神奈川県「子どものみらい応援団」の構成団体等で、子どもの現状を伝えるセミナーを実施した。

第 1 回 一般社団法人神奈川経済同友会 環境福祉委員会

日程 2021 年 10 月 18 日 (月) / 15:00-17:00

演題 子どもたちに食糧支援を  
～持続可能な子ども食堂支援の仕組みづくり～

講師 一般社団法人全国食支援活動協力会専務理事 平野 覚治氏

事例報告 子ども食堂よこすかなかながや 代表 和田 信一氏  
まりあ食堂 事務局代表 鳥生 文子氏

第 2 回 神奈川県生産性本部 2021 年度上期理事会

日程 2021 年 11 月 29 日 (月) / 15:30~17:00 (講演 16:30~17:00)

演題 子どもたちに食糧支援を

講師 一般社団法人全国食支援活動協力会専務理事 平野 覚治氏

子ども食堂よこすかなかながや 代表 和田 信一氏

- ・従事者人員 3 名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 179,139 円

④ 日本子ども虐待防止学会第 27 回学術集会かながわ大会への参加

- ・内 容 県内で子ども虐待対応活動に関わっている多職種のメンバーからなる実行委員会に参加。「誰ひとり取り残さない」～思いをカタチに～をメインテーマに開催される学術集会の準備等に携わった。
- ・日 時 2021 年 12 月 4 日～5 日
- ・場 所 パシフィコ横浜ノース
- ・従事者人員 1 人
- ・支出額 8,832 円

⑤ 「バリアフリーフェスタかながわ」への参加 (コロナにより中止)

- ・内 容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタ」に出展し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを展開する。
- ・日 時 11 月
- ・場 所 未定
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 4,416 円

- ⑥ パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」の活用による普及啓発  
(基金 21 協働事業負担金事業)
- ・内 容 パンフレットを活用して企業等への普及啓発活動を行った。
  - ・日 時 通年
  - ・場 所 事務局他
  - ・従事者人員 3 名
  - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
  - ・支 出 額 358,277 円
- ⑦ ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の活用による普及啓発とマッチング
- ・内 容 ポータルサイトを活用し企業と NPO とのマッチングを行った。
  - ・日 時 通年
  - ・場 所 事務局
  - ・従事者人員 3 人
  - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
  - ・支 出 額 179,139 円
- ⑧ インターネットを活用した普及啓発
- ・内 容 Facebook 等を活用して普及啓発事業を行った。
  - ・日 時 随時
  - ・場 所 事務局他
  - ・従事者人員 3 名
  - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
  - ・支 出 額 56,716 円
- ⑨ 広報誌の発行による普及啓発
- ・内 容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行った。
  - ・日 時 7 月及び 2 月 (年 2 回発行) 各回 3,000 部発行
  - ・場 所 事務局
  - ・従事者人員 3 名
  - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
  - ・支 出 額 163,101 円
- ⑩ その他、メディア等を活用した広報宣伝
- ・内 容 新聞・テレビ等のメディアにプレスリリース等積極的に働きかけた。
  - ・日 時 随時
  - ・場 所 事務局他
  - ・従事者人員 3 名
  - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
  - ・支 出 額 61,989 円

(6) 第3条の目的を達成するために必要な事業

① 会議に関する事項

- ・通常総会 5月開催
- ・理事会 年12回開催
- ・運営委員会 年12回開催

② 監査に関する事項

- ・本監査 年1回

③ 事務局体制

- ・事務局スタッフ 常勤職員 1名 (2021年7月退職)  
非常勤職員 3名 (2021年9月1名、2022年2月1名入職)
- ・運営委員による事務局応援  
有償ボランティア 3名 (週1回程度)  
その他ボランティア 3名 (随時)

以上